

青 森 県 基 本 計 画

「選ばれる青森」への挑戦
支え合い、共に生きる



青森県における弘前大学を中核 とした産学官連携の取組

令和3年8月26日

第56回総合科学技術・イノベーション会議

青森県知事 三村 申吾

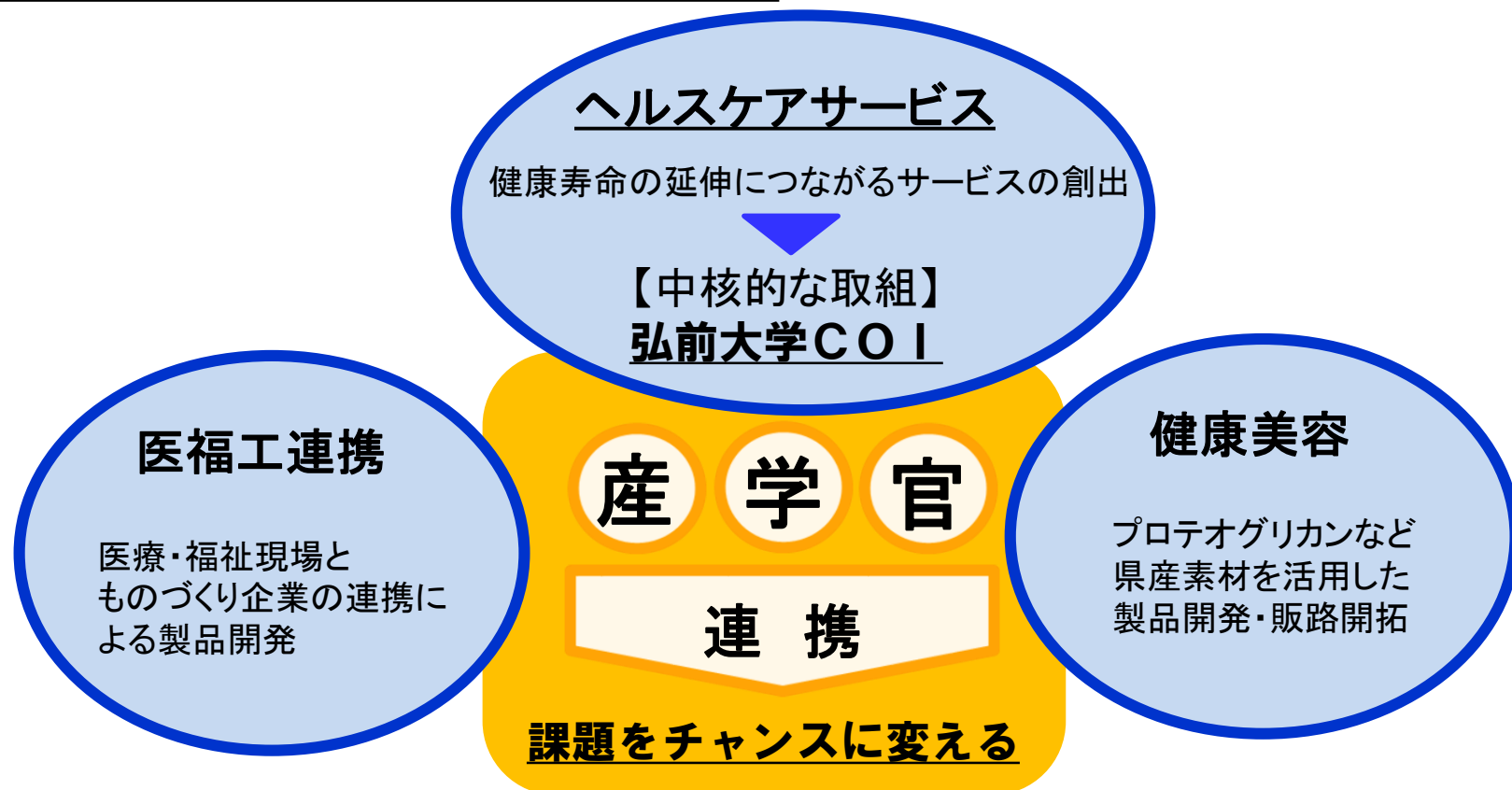
産学官連携で課題をチャンスに変える事業を創出

○課題

- ・著しい高齢化の進行により、医療・健康福祉関連サービスの需要が大幅に増加する見込み
- ・人生100年時代の到来で平均寿命・健康寿命の延伸が必要

○基本方針

医療・福祉、食、美容、住宅、心身の癒しなど、人生の様々な場面で、健康的で心豊かに年を重ねていくための
ライフスタイルの革新をビジネスイノベーションによって実現



世界的に類をみない健康ビッグデータでビジネス視点のイノベーション

2,000~3,000項目

×

1,000人

×

16年



＜弘前市岩木地区の大規模合同健診＞

データ提供



全国のビッグデータと連携

「九大・久山町研究」「京丹後スタディ」

・企業と弘前大学による共同研究

メタボリック
シンドローム

歯科・口腔

ロコモティブ
シンドローム

フレイル
データ解析

認知症

アミノ酸
データ解析

Etc..

- ・疾患予防アルゴリズム、疾患危険因子の特定など、トータルでの革新的な疾患の予兆法・予防法の開発を目指す。
- ・短命県返上＋健康長寿社会の実現を目指す。

→継続的・自発的に“イノベーション”を生み出す
拠点を創出

弘大COIの スキーム

東大・京大など
・ビッグデータの
専門家と
連携

学

国

文部科学省・JST

・COIプログラム

弘前大学

・シーズ創出
・研究の推進

支援

産

連携

官

参画企業（約70社）

・地域の企業
・日本を代表する製
薬、食品、小売、教
育関係等の企業

青森県庁
弘前市役所

・新産業創出支援

- ・平成31年日本オープンイノベーション大賞（総理大臣賞）
- ・令和元年プラチナ大賞（総務大臣賞）
- ・令和2年イノベーションネットアワード文部科学大臣賞
- ・令和3年国連アジア太平洋経済社会委員会報告書掲載

弘前大学COIから地域のビジネスイノベーションが次々と誕生

具体例：県内企業がCOI参画

マルマンコンピュータサービス（弘前市）

- いつでも、どこでも、過去に受診した健診データを確認できるアプリ
- 県内外の企業が従業員の健康管理に活用



弘前大学COI

- 参画機関：約**70**
- 民間資金：年約**5**億円
- 共同研究：**15**講座

ビジネスの芽

東北化学薬品（弘前市）

山田高校×かがや食品（弘前市）

花王×栄研（弘前市）

マルマン×県生協（青森市）

具体例：県内企業がCOI参画企業とコラボ

工藤パン（青森市）×柏木農業高校

- 弘前大学、ローソン、工藤パン、柏木農業高校、食生活改善員によるコンソーシアム
- 健康志向型食品（パン）を開発し、ローソンで販売(他にも多くの取組有)



○健康寿命の推移（H28実績）

男性は+2.69歳で延び幅全国**第1位**
（71.64歳）

女性は+1.80歳で延び幅全国**第7位**
（75.14歳）

- 短命県からの脱却、ライフイノベーションの推進
- 青森県の新産業、雇用の創出

NEXT

○課題先進県として世界の
寿命の延伸にも貢献

○国には、制度や予算面でのご支援を期待